



日本共産党
北茨城市委員会
選挙区 豊田1(030-2)
13-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週日曜日発行
お問合せは上記へ

市商工会主催
賀詞交歓会

あいさつで各氏が率直な意見 市長は後期高齢者医療制度を批判

新春恒例の賀詞交歓会が市商工会の主催で1月10日に開催されました。会場となった商工会館には、国会議員ほか市内各界から約百名が出席しました。

とっては今まで以上に厳しい年となる。しっかりと会費を支援していきたい」と述べました。

主催者あいさつで長瀬博司商工会長は「ジャスコ跡地へのマルチ開店、中郷地区へのヤマダ電機出店計画など大型店の進出が相次ぐなかで、市内の商工業者に

来賓あいさつで豊田市長は、大島(民主)、岡部(自民)の両衆院議員を前に、「副市長(助役)がいけないので、なかなか国会に行けない。行ったら他の人に市長のイスに座られてしまう」と笑いを誘いながら、国会の先生に注文があるとして、



祝・成人

1月13日、祝典会場(白浜会館)

「4月から実施される後期高齢者医療制度は、市の負担増が2億1千万円。高齢者1人当り年6万円の税負担であり大変である。党派を越えて改善に取り組んでほしい」と注文を付けました。



主催者あいさつをする市商工会の長瀬博司会長。

さらに「市民1人当り12万円の市税を頂きながら、1人当り2万5千円しか拠出していない。5万円ぐら

い拠出する必要ある」として、地方への財政支援を強く要望。「私は市長選挙でどの党派の支持も受けていないので、4年間はスバズバと物を言う。私の言ったことはすべて市民の声」と述べました。

続いてあいさつした大島衆院議員は「三位一体の改革で地方は税減になり大変。漁業、加工組合からも原油代をどうかしてくれと要望されている。ガソリンの暫定税率は廃止すべき。霞ヶ関の埋蔵金を使って原油高騰の対策をはかるべき」と、発言。

それに対して岡部衆院議員は「小泉構造改革の6年間でゆがみが出てきているのも事実」と述べながらも、ガ



市女性連盟の主催で

「市長と話してみませんか」

1月12日、ふれあいセンターにお

参加者からは「例年の形式はったあいさつではなく、率直に直面する課題が述べ

られて良かった」「国会討論会のように面白かった」といった感想が聞かれました。

豊田市長は、冒頭に自らの12年間をふりかえった後、市政全般について、持ち時間を超過しつつ、縦横に語りました。

市立病院の問題については、医者確保に奔走していること、赤字を4億5千万円(住民一人当たり1万円)程度に抑えてから、新病院建設を考えたいという方向

ご相談はお気軽に



市議会議員
福田 明
☎ 43-0468



市議会議員
鈴木康子
☎ 42-2462

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

Windows Vista(IE7)などなら、いま試験的に
<http://www.北茨城.jp>でもアクセスできます。